

総合的な学習の時間

第1学年

神石高原町立三和中学校

指導者 高橋 奏太
河本 壮一郎
瀧本 憲史

単元名

地域の魅力再発見プロジェクトⅡ 【町の魅力を伝えよう】

本単元で育成する資質・能力

「課題発見力」「課題解決力」

1 日時 令和3年11月2日(火)

2 学年・組 第1学年A・C組(男子7名, 女子15名, 計22名)

3 単元観

本単元は、今年度前半に学習した地域の魅力再発見プロジェクトⅠ【町の特色を見たり聞いたりして学ぶ】からつながる単元であり、神石高原町の特色・魅力を知った上で、「ふるさと」神石高原町がより発展していくために、その魅力を他所へより良く発信していくことを目標としている。また、自分たちの故郷がこれからも住み続けられる町であるために、少子高齢化が進むこの町に定住者を増やすため、自分たちにできることを実践し、「町の未来をより良く変えることに貢献している」と実感することで今後の地域発展のための学習に主体的に取り組むことができるようになることをねらいとする。

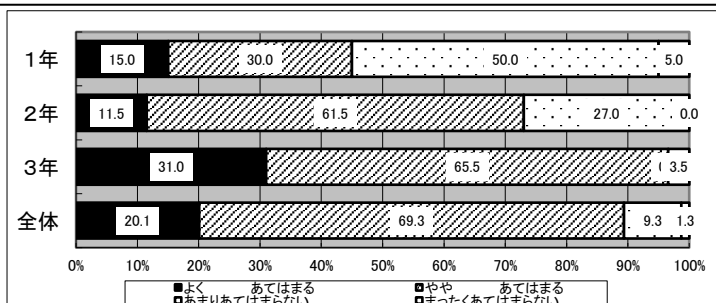
本単元の学習内容は、SDGsの17の目標「11 住み続けられるまちづくりを」を受けて設定しており、本質的な問いを「将来この町とどのように関わっていくか」と設定している。自分たちの故郷の特色に気づき、故郷のために様々な立場の人と力を合わせて行動することによって、「故郷に生きる自分」として自己肯定感を高め、またより良く課題を解決し、自己の生き方を変えていくための知識・技能を習得、活用していくことができる単元である。

4 生徒観

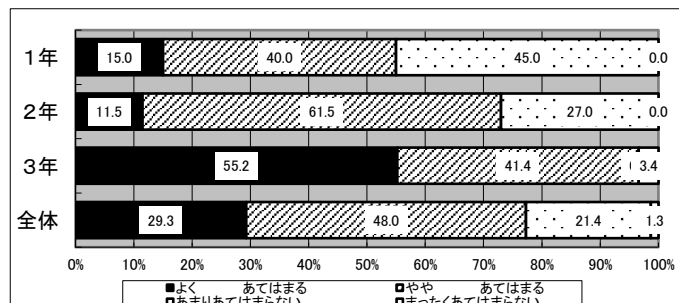
本学年生徒は、今年度最初の総合的な学習の時間にアンケートを行ったところ、「将来神石高原町に残りたい、住み続けたいと思うか」という質問に対して全22人の内5人が残る、6人が残らない、11人が一度町外に出て将来的に戻ってくると回答した。町外に残る、また一度町外に出て将来的に戻ってくると回答した生徒の理由としては「自然が豊かだから」「夜静かだから」というものが多く、住みやすさを実感していることが窺えた。一方で、残らないと回答した生徒の理由としては、「交通が不便だ」や「コンビニやスーパー、服を買う店などが少ないから」などがあつた。これらの理由から察すると、街中と比べて多少なりとも劣等感を感じていることが分かる。

また、7月に行った総合的な学習の時間に関するアンケートでは、以下のようになっている。

身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことを見つけています。



地域の方のために自分にできることを考えています。



アンケート結果から、身の回りのことに関心を持ち、課題を発見する力に課題があると考え。また、2つ目の質問に関しては、他の質問で「友達や、地域の人がもっている悩みを解決したり、願いを叶えてあげたりしたいと思います。」に対して肯定的な回答が85%であるにも関わらず、地域の方のために自分にできることを考えている生徒は55%ということで、地域貢献したいと思っているものの、自分にできることは少ないと考えている生徒が多いことが考えられる。

5 指導観

(1) 生徒が課題発見する場面の設定

- ・今まで学習してきたことを基に、町のためにできることはないか課題意識をもたせる。
- ・町の活性化のために自分にもできそうなことから考えさせ、単元末には「自分も社会の役に立っている」という実感がもてるような単元計画を生徒と共に立てていく。

(2) 生徒に課題解決までの道筋を立てさせる

- ・課題解決のためにどのような情報を集めたらよいかを考えさせ、解決に向けた見通しをもたせる。
- ・課題解決のための方法について、「現実的に考えて無理そうだ」という固定観念を外し、多様な意見を出し合い、計画を立てていくことを促す。
- ・調べ学習の意義を理解させるとともに、地域おこし協力隊の方や関係諸機関への聞き取りなどを情報収集の場として設定し、積極的にコミュニケーションを図らせることにより、情報収集を促す。
- ・調査し考えまとめたことを、相互に発表、議論させ、比較などを行わせながら自分自身の考えを深めさせる。

(3) 振り返りの場面の設定

- ・「課題設定、情報収集、整理分析、まとめ・創造・表現」の4つのステップを意識させ、これらのサイクルを作りながら、各々の段階で、自分の姿がどのようなであったかを基にして自己評価させる。
- ・振り返りの視点と振り返り例を明示することにより、全ての生徒に振り返り活動に取り組ませる。
- ・単元末には本質的な問いに立ち返り、更に疑問に思ったことやもっとやってみたいことを出させ、次年度の学習につなげていくようにする。

6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

○ 本単元で身につけさせたい資質・能力と評価基準

資質・能力	課題発見力 (自ら課題を見いだす力)	課題解決力 (課題解決のために計画を立てたり, 実行したりする力)	振り返り力 (メタ認知力)
I (基礎的知識)	【課題発見と解決方策】 ○町の課題を自分事として考え、解決に向け見通しをもっている。	【考えの精査と表現力】 ○よりよい考えを吟味し、自分のことばで表現している。	【実生活への還元】 ○学んだことを実生活に活かそうとしている。
C (つながり)	【多角的な考え方と計画力】 ○視野を広げ、課題解決に向けて計画を立てている。	【納得解を見出す】 ○視野を広げて、納得解を見だし、表現している。	【他とのつながりを理解】 ○地域における自分の生き方、在り方について考えている。
E (応用)	【論理的思考力】 ○さらによくするためには、どうしたらよいか、根拠をもって考えようとしている。	【発信力】 ○納得解を見だし、効果的に発信している。	【地域の中での自分の生き方・在り方】 ○地域の問題解決に自分のこととして取り組んでいる。

<評価規準>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・神石高原町が住み続けられる町であるために活性化させていくには、多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解している。	・神石高原町の良さや課題点を学習する過程を通して感じた関心をもとに課題をつくり、見通しをもって計画を立てている。	・地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。

7 単元計画（20時間）

次	学習活動	生徒の思考の流れ	評価
			◇評価規準（評価方法）
1 本時	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期の「総合的な学習の時間」の内容を振り返り、「町の魅力を発信する」という視点で自分たちにできることはないか考える。 ・「楽々ファーム」の山内さんからの手紙に対して何か行動で返せないか考える。 ・発見した課題に対して自分たちで解決のための計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期では「神石高原町の魅力を再発見する」というテーマで学習して、色々な分野で知識が増えたな。 ・山内さんの返信では「何か広報活動をしていきたい」とあるけど、自分たちに手助けできることはないかな。 ・広報活動といえば、どのような手段が効果的かな。 	<p>◇神石高原町の良さや課題点を学習する過程を通して感じた関心をもとに課題をつくり、見直しをもって計画を立てている。 （行動観察・ワークシート） 【思考・判断・表現】</p>
2 3	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように発信するか具体的なゴールイメージをクラスで出し合い、決定する。 ・課題解決のための計画を自分たちで立て、単元計画を作成する。 ・どのような方法で情報収集をするのか議論し、関係諸機関と連携を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報」がテーマだから、今までみたいに校内で発表したりするのは効果がないな、どうすればいいだろう。 ・町外の方に知ってもらうにはどのような方法が一番効果があるだろう。 ・動画やチラシなどで発信していけば広まると思うよ。 ・チラシってどこに貼る？そもそも福山の店とかに貼っていいのかな？ ・山内さんの仕事内容を詳しく伝えるにはもう少し山内さんに話を聞いた方がいいね。 ・町の広報活動をしている機関といえば町役場かな。それとも観光協会かな？どちらか調べて話を聞いてみるのがいいね。 	<p>◇神石高原町の良さや課題点を学習する過程を通して感じた関心をもとに課題をつくり、見直しをもって計画を立てている。 （行動観察・ワークシート） 【思考・判断・表現】</p>
4 10	<p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでぶどう農家についての知識を蓄える。 ・他の地域のぶどうについての理解を深める。 ・山内さんと連携をとってどのようなポイントをアピールすべきなのか相談させてもらう。 ・楽々ファームを訪問し、写真を撮ったり、取材したりする。 ・動画製作に携わる方に、「みんなに見てもらえる動画」を作る上で大切なことなどをインタビューする。 ・動画の流れの構想を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶどうが成るまでにはどのような工程があるのだろう。 ・他の地域はどのような特徴があるぶどうを作っているのだろう。 ・山内さんのぶどうの特徴をより良く伝えるにはどうすれば良いだろう。 ・視覚的に訴えるためにはやはり写真や動画などがあった方がいいな。 ・動画を作る上で大切なことは何だろう？ ・どんな動画が多く見てもらえるのかな。 ・ただ紹介するだけでは見てもらえないから、見る人の興味を引くようなコーナーを作れば良いと思うよ。 	<p>神石高原町が住み続けられる町であるために活性化させていくには、多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解している。 （行動観察・ワークシート） 【知識・技能】</p> <p>地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。 （行動観察・ワークシート） 【主体的に学習に取り組む態度】</p>

<p>1 2 ・ 1 3</p>	<p>整理分析 ・集めた情報を精査し、良い動画を作成するのに必要な情報と必要でない情報を分ける。 ・必要な情報をどのように動画内に組み込んでいくのか計画を立てる。 ・山内さんと連携を取って、完成イメージを共有し、アドバイス等もらう。</p>	<p>・この情報はぶどう農家の大変さ、神石のぶどうのおいしさの秘密を伝えるためには必要だな。 ・この情報は動画の流れとは合わないから含めなくてもいいかな。 ・動画の完成イメージは山内さんと共有して、「もっとこうしてほしい」ということがあればアドバイスをもらった方がいいんじゃないかな。</p>	<p>地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。 (行動観察) 【主体的に学習に取り組む態度】</p>
<p>1 4 1 8</p>	<p>整理分析 ・動画作成をする。 → 動画撮影班 動画編集班 音響班 台本、カンパ作成班 制作物班 等に分かれて作業をする。</p>	<p>・撮影日は学校行事や時間割から考えてこの日がいいんじゃないかな。 ・編集するにはこうしたらもっと見えやすい、分かりやすいんじゃないかな。 ・見ている人の興味を引く音楽にするには幅広い年齢層に通用する曲がいいね。 ・台本の中で、伝え漏れや、言葉遣いが適切でない部分はないかな。 ・このシーンを撮るには、アイテムとしてあれがいるな。作るのに必要な材料は・・・ ・これまでの学習を振り返ると、工夫すべき点に分かるな。</p>	<p>神石高原町が住み続けられる町であるために活性化させていくことや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解している。 (行動観察・ワークシート) 【知識・技能】 地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。 (行動観察) 【主体的に学習に取り組む態度】</p>
<p>1 9 ・ 2 0</p>	<p>まとめ・表現・振り返り ・山内さんに完成した動画を見てもらい、作成する上で気をつけたことや思いなどを発表する。 ・これまでの取組を振り返って、自分が身に付けた力や、できるようになったことを理解する。 ・本質的な問いに立ち返り、次年度に向けて新たな疑問や課題を考える。</p>	<p>・この単元を通して自分にはどのような力が身に付いただろう。 ・見通しをもったり、自分から考えて動くことができたな。 ・自分でも町のためになることができ達成感があるな。 ・これからも町の課題を発見して、自分にできることを実践していきたいな。</p>	<p>地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。 (ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】</p>

8 本時の展開

(1) 本時の目標

上半期の「総合的な学習の時間」の内容を振り返り、「町の魅力を発信する」という視点で自分たちにできることはなにかを考え、今後の計画を立てる。

(2) 準備物

ワークシート, ホワイトボード, マーカー

(3) 本時の展開

学習活動	◇指導上の留意事項 ◆配慮の必要な生徒への支援	資質・能力 (評価方法)								
<p>○これまでの学習を振り返り, 楽々ファームの山内さんから来た手紙を紹介する。</p> <p>○本時の目標を確認する。</p>	<p>◇課題発見の手立てとして, 山内さんから「広報活動をしていきたいけど仕方がよく分からない」という内容から自分たちにできることを探させる。</p>									
<p>本時の目標：これまでの学習を振り返り, 「町の魅力発信」のために自分たちにできることを見つけ出し, 計画を立てる。</p>										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 本時の流れの確認</td> <td style="width: 20%;">5分</td> </tr> <tr> <td>2. グループ内議論 (課題発見)</td> <td>15分</td> </tr> <tr> <td>3. 今後の学習の計画を立てる</td> <td>25分</td> </tr> <tr> <td>4. 振り返り</td> <td>5分</td> </tr> </table>	1. 本時の流れの確認	5分	2. グループ内議論 (課題発見)	15分	3. 今後の学習の計画を立てる	25分	4. 振り返り	5分	<p>◇黒板に掲示する。</p>	
1. 本時の流れの確認	5分									
2. グループ内議論 (課題発見)	15分									
3. 今後の学習の計画を立てる	25分									
4. 振り返り	5分									
<p>○山内さんの手紙を受けて, 今後自分たちにできることをグループで考え, 全体交流し, 今後の方向性を固める。</p> <p>○課題解決をしていくための計画をグループで立てる。</p>	<p>◇自由な発想を促すために, 現実的に無理そうなことや, 大がかりなことを避けないように多面的な視点から考えさせる。</p> <p>◆広報活動の種類にはどのようなものがあるかインターネットで調べるように促す。</p> <p>◇多面的な視点で考えさせるために, 途中で各班の経過を発表させたり, 教師が関係諸機関との連携等について言及するなどして, 綿密な計画を立てさせる。</p>	<p>神石高原町の良さや課題点を学習する過程を通して感じた関心をもとに課題をつくり, 見直しをもって計画を立てている。 (行動観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p>								
<p>○本時を振り返り, このプロジェクトを通してどのような力を身に付けたいか考える。</p> <p>○次時の確認</p>	<p>◇本時の振り返りをワークシートに記入する。</p> <p>◇まず全体で, このプロジェクトをしていく上でどのような力が必要になりそうか出させ, その中から選ばせるような流れにする。</p>									